

No.360
4月号

あたごふれあい人権文化センターだより 2024年4月1日発行

発行：あたごふれあい人権文化センター
住所：〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内 1818-2
電話：0858-28-5440 (FAX 兼)
E-Mail：atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより「心ゆたかに」
に関するご意見・ご要望をお寄せください。

お気軽にあたごふれあい人権文化センターへ



あたごふれあい人権文化センターは、福祉の向上や人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして人権尊重のまちづくりをめざし事業を行っています。

今年度もつながりを大切に、各世代を対象とした様々な事業に取り組みたいと考えていますので、皆さまのご参加・ご支援・ご協力をいただくとともに、お気軽にあたごふれあい人権文化センターへお越し下さい。

◆主なセンター事業◆

- 《啓発事業》 部落問題をはじめ様々な人権課題について、センターだよりの発行や視察研修会、人権問題講演会などを行っています。
- 《交流事業》 就学前から高齢者まで、様々な年代層を対象に交流会や学習会、サロンの開催。「あたごふれあいサロン」は地域の交流を図ることを目的に、毎月1回開催しています。
- 《相談事業》 人権問題や生活に関わる様々な問題の相談を受けます。ささいなことでも遠慮なくお越し下さい。

今年度のあたごふれあいサロンの予定です

どなたでも参加できます、お気軽にお越しください。開催日・内容は変更の場合がありますので、人権文化センターだよりの案内でご確認ください。

4月26日(金) 大人の塗り絵	10月(実施日未定) 視察研修
5月24日(金) ステンドグラス	11月22日(金) きめこみパッチワーク
6月21日(金) 押絵ショルダーバッグ	12月26日(木) 門松づくり
7月19日(金) 木工教室	1月24日(金) 室内スポーツ
8月23日(金) 人権DVD	2月21日(金) 健康教室
9月27日(金) ガーデニング教室	3月28日(金) パウダーアート



昨年度のサロンの様子・作品の一部です

差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



自閉症について知っていますか？

4月2日は、平成19年に国連が制定した「世界自閉症啓発デー」です。また、この日から8日までを「発達障害啓発週間」と位置付け、自閉症をはじめとする発達障がいへの理解促進のための集中啓発が行われます。

発達障がいは、感情のコントロールや集中力、他人の感情の理解などが難しい特性を持つ、生まれつきの個性や性格に近いものです。

特に、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」は、コミュニケーション能力の困難や強いこだわりが特徴で、これらをまとめて自閉スペクトラム症と呼びます。

自閉症は言葉の遅れや知的障がいを伴いますが、高機能自閉症やアスペルガー症候群では知的障がいは伴いません。

項目	自閉スペクトラム症		
	自閉症	高機能自閉症	アスペルガー症候群
コミュニケーション	とても困難	困難	少し困難
言葉の遅れ	ある	ある	ない
知的障害	ある	ない	ない
こだわり	ある	ある	ある

誤解されやすい自閉症

自閉症は親の育て方や愛情不足が原因ではなく、また後天的な病気でもありません。

「自分の殻に閉じこもっている状態」と誤解されることもありますが、実際は生まれつきの脳の情報処理機構の特性として、できることとできないことにばらつきがあり、日常生活でさまざまな困難が生じることがあります。

自閉症の特徴は

脳の発達の仕方の違いから「他の人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切に使うこと」「新しいことを学習すること」や、一般的な「常識」と思われることを身につけることも苦手です。このため、真面目に取り組んでいても、誤解されることがあります。

なお、自閉症の人によく見られる強みとして、自分の関心が高い分野に対する集中力が挙げられます。特定の領域の記憶力に優れており、情報処理能力の高い人が多く見られるのも特徴です。

自閉症の人を見かけた時の対応

自閉症の人は会話が苦手で、過敏性も持つため、周囲の環境や言葉使いに配慮が必要です。

- ・ 説明は分かりやすい言葉を使い、具体的で短い表現にすることが大切で、抽象的な表現はさける
- ・ 視覚的な補助として写真や絵を使うと理解しやすくなる
- ・ 過敏で刺激に対し苦手意識を持つ人も多いので、人ごみや大きな音、強い光などが無い安心できる環境を提供する
- ・ 新しいことや変更が生じると混乱しやすいので、落ち着いて具体的に知らせる
- ・ 間違いに対しては叱るのではなく、正しい方法をできるだけ具体的に説明し、穏やかに根気強く接して、良い関係を作る

自閉症の人が暮らしやすい社会へ

私たちはそれぞれ違った感性や個性を持ち、それを尊重し合いながら日々を過ごしています。

「彼らの行動の意義を解釈する」「治すではなく、違いととらえる」「できていることや良い点を認める」といったことで自閉症の人が社会で生き生きと暮らすことが可能となります。

自閉スペクトラム症など発達障がいのある人、その家族、一緒に生きる地域社会の全ての人々が、自分らしく安全に生活できる「共生社会」の実現につなげましょう。

※世界自閉症啓発デー日本実行委員会 ホームページ 参照

4月のあたごふれあいサロン

日時：4月26日(金) 13:30~

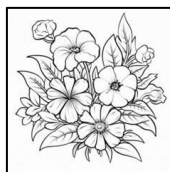
内容：大人の塗り絵

参加費：200円程度

※作品は当日選んでいただきます。

※参加される方は、4月15日(月)までに、

あたごふれあい人権文化センター(☎28-5440 または e-Mail)へお申し込みください。



(一部作品例)